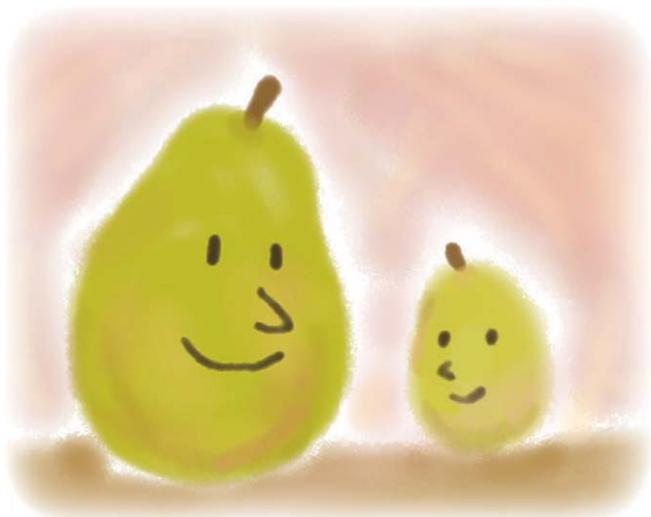


ご案内

付き添い家族のための 滞在支援施設があります



入院患者と家族を支える・ボランティア団体
NPO 法人 北海道ファミリーハウス
〒060-0807 札幌市北区北7条西6丁目 北苑マンション

(011) 716-4161

E-mail: npo0704@az.snowman.ne.jp

私たちの活動

- 患者さんと家族のために、滞在できる施設情報をとりまとめ提供する活動
- ファミリーハウス運動を広く理解いただくための広報活動
- 図書や寄贈や講演などを通じて社会還元・社会貢献する活動
- その他、本会の目的に添った様々な活動

切り取って
見えるところに
貼ってください。

賛助会員(寄付)を 募集しています

NPO 法人 北海道ファミリーハウスの運動は、会員の皆様の善意に支えられています。

会の運営にあたり、賛助会員(寄付)を募集しています。いつでもどなたでも入会することができます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

法人

一口/年

10,000円

法人として資金的に援助
いただける会員です。

個人

一口/年

1,000円

個人として資金的に援助
いただける会員です。

(何口でも申し込むことができます)

振込および入会申込先

〒060-0807
札幌市北区北7条西6丁目 北苑マンション
NPO 法人 北海道ファミリーハウス
理事長 南谷 晴之
TEL (011)716-4161/FAX (011)716-4162

北洋銀行	本店営業部	普通 2261778
札幌信用金庫	札幌駅北口支店	普通 4320812
口座名義	…………… 特定非営利活動法人 北海道ファミリーハウス 理事長 南谷 晴之	

※郵便振替をご希望される方は、恐れ入りますが事務局までお問合せください。

寄付・寄贈などのご支援を頂きました

公財) ドナルド・マクドナルド・ハウス、北海道労働金庫、赤い羽根共同募金会、北海道骨髄バンク、北海道電力労働組合、北海道電力関連産業労働組合総連合、道新福祉振興基金、毎日新聞社、味の素、花王、電通、ほくでん情報テクノロジー、越智基金、札幌信用金庫社会福祉基金など多くの団体、個人の方からいただきました。



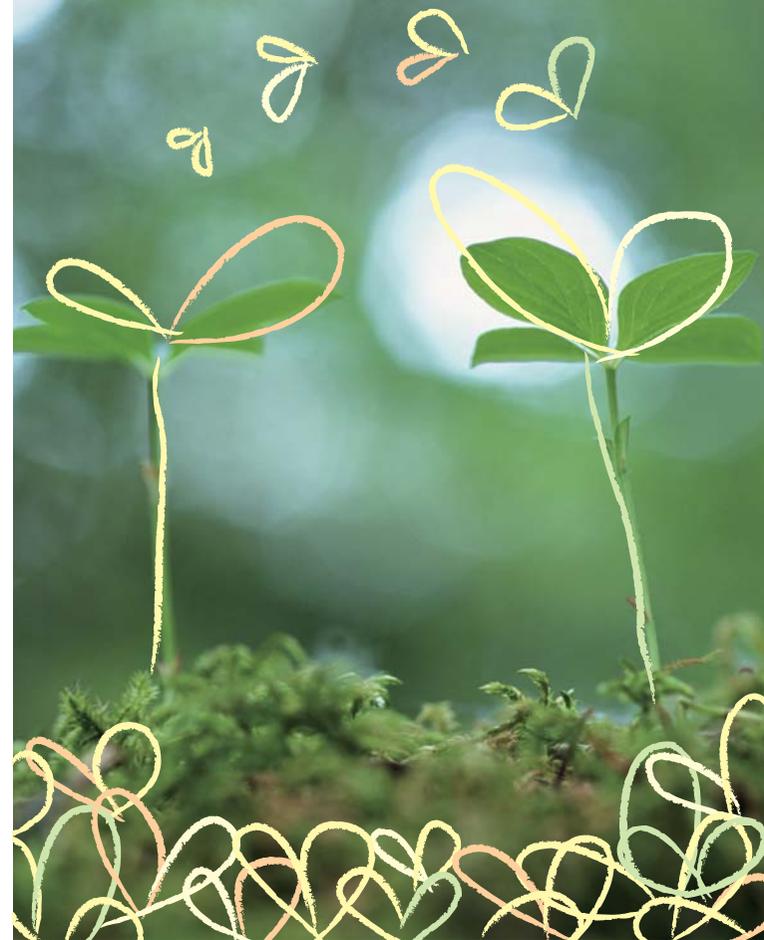
ホームページは「ほくでん情報テクノロジー」様のご協力を得ています。

ほくでん情報テクノロジー様インターネットサービス

<http://www.snowman.ne.jp>

患者さんと家族を支える

こころをつなぐ「家」がある



入院患者と家族を支える・ボランティア団体
特定非営利活動法人

北海道ファミリーハウス

〒060-0807 札幌市北区北7条西6丁目 北苑マンション
TEL (011)716-4161 FAX (011)716-4162
[URL] <http://www3.snowman.ne.jp/~h-family/>
[E-mail] npo0704@az.snowman.ne.jp



ファミリーハウス運動を ご理解いただくために

NPO 法人 北海道ファミリーハウス
理事長 南谷 晴之

〔 慶應義塾大学名誉教授
前千歳科学技術大学教授 〕



ファミリーハウスとは日本で名付けられた名称で、先進国アメリカでは、この患者と家族のためのハウスを“ホスピタル”“ホスピタリティー”ハウスと総称しています。

ヨーロッパの伝統社会では「揺り籠から墓場まで」すべてを国家の福祉政策によってきましたが、市民の自立心を重視するアメリカでは早くからこうした互助的なシステムが市民の中に根付いたようです。資金的には企業が提供し、マンパワーはボランティアが担うという形がアメリカの精神風土を如実にあらわすものようです。

ただ現在では、どこの国でも税のみによる福祉には限界が見え、ボランティアの役割が重要になってきたことはご承知のとおりであり、私たちの責任は一層重くなっています。

北海道方式といわれるファミリーハウスの運営は建物の所有者が運動に参加することにより、他の都市とは違い資金力によって室数に限界を生ずることがないため、通院から入院患者までファミリーハウスを必要とする人にご利用いただけるシステムとなっており、新しいファミリーハウスの形態として全国的にも注目されています。

北海道ファミリーハウスは、2000年11月にボランティア団体として設立し、これまで培ったノウハウを活かし、運動をさらに発展強化し、社会的信頼を得るため2007年4月にNPO法人の認証を取得しました。この資料が一助となり、皆様方から多くのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ファミリーハウス運動とは

小児がんなどの難病の治療は、長期間の入院と高度医療(骨髄移植や手術・放射線治療など)を受ける必要があります。一方、患者の家族はビジネスホテルやアパートを確保するなど重い経済的・精神的負担を抱えることとなります。このような状況を改善する一方策としてファミリーハウスの運動が進められています。

とりわけ、ハンバーガーチェーンのマクドナルド社(公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス)が造った「ドナルド・マクドナルド・ハウス」は世界的にも有名で、その数は37カ国344カ所になっています。(2014年12月現在: 出典HP)

日本国内における運動の現状は

1991年国立がんセンター中央病院小児科に全国各地から入院していた子供の母親たちが、アメリカの「マクドナルドハウス」の存在を知り、東京にも宿泊施設を…と訴え、運動が始まりました。

92年、血液のがんで亡くなられた息子さんの意志を受け継がれたご両親が建てた「かんがる～のおうち」やマンションの一室を提供していただいた「パピーの家」が誕生しました。



北海道における運動の現状は

2002年4月に北海道電力(株)と北海道電力労働組合が50周年を記念して北大病院と札幌医大病院にそれぞれ10室程度のファミリーハウスを建設寄贈する共同事業を行いました。その他、旭川医大病院をはじめ病院併設のハウスが増えつつありボランティアの枠を越え企業運動として高まっています。

NPO法人北海道ファミリーハウスの役割

病院の施設だけでは応じきれない利用者のため、病院周辺で空室となっている物件のオーナーさんとホテルのご協力(社会貢献活動)を得て、ファミリーハウスとして活用させていただき、いまでは子供たちはもとより、一般の患者さん家族にもご利用いただいております。この方式は「北海道方式」と呼ばれ全国的にも注目されています。

全国の滞在施設が検索できます



JHHH ネットワーク

日本ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス・ネットワーク

— まずはホームページを検索してアクセス! —

<http://www.jhhh.jp>